

新年あけましておめでとうございます

峰のひかり

発行人

社会福祉法人七峰会

理事長 奥田 稔

〒036-8356

青森県弘前市大字下白銀町21-8

電話 (0172)33-8861

FAX (0172)33-8862

苦しいときだけでも

新規事業を進めます

社会福祉法人七峰会 理事長 奥田 稔



新年あけましておめでとうございます。
いろいろな事があった旧年の事柄を糧にして、新しい年に大きな希望を掲げて更に一歩前進したいと自らに言い聞かせました。

皆様には、お変わりもなく二〇〇八年・平成二〇年を迎えられた事と存じ心からおよろこび申し上げます。

さて、新しい年は私共にとって好むと好まざるにかかわらず、障害者自立支援法、介護保険法の

制約の中に在り乍らも基幹施設の働きを核とした社会福祉サービスを必要とされる方々に旧年にも増した、密度の濃い内容で地域に密着したサービスを提供出来る年となる予定であります。

政府説明は財源がないの一点張りで、その肩代わりを市町村とサービス利用者に強いています。之に対して市町村も当事者も「限界ギリギリだ」と言います。でも政府説明では未だ「無駄が多い」財政運営だと感じます。

当法人は、創設以来三五年、それぞれの現場が「無理・無駄・ムラ」のない仕事の進め方を「現場主体」で進めて参りました。その成果は、基幹施設を軸としたグループが「万事・即時対応」の力をもってサービス提供の働きをさ

せて頂いております。

政府の発表する事項に明るい話題は有りません。頼る事の出来ない国の政策だったら私達は、自分の創意と工夫、蓄積した技術、そして何事にも負けない組織力で困難に対処する覚悟を固めて事を展開推進させねばなりません。法人は、既に新規に地域の要請に応える事業計画の実行に入りました。明るい話題のない社会ならば、糸賀一雄先生が遺された『此の子らを世の光に』の心で活動と事業を進めるのが今こそ社会福祉の領域に在る私達の任務だと思えます。どうぞ本年も相変わリませず御支援の程よろしくお願い申し上げます。

更なる御支援を

おねがいします





短期入所の
ベット数が
増えました。

身体障害者
療護施設

山郷館

山郷館では、皆様からの短期入所利用希望が増加していることで10月1日より、ベット数が4名分から6名分に増えましたので、これまで以上に利用受け入れが可能になりました。

「短期入所(シヨートステイ)サービス」は、ご家族や介護者の休養、外出や外泊、急な用事のほか、毎月、定期的なご利用も可能です。期間は、1日から概ね1ヶ月程度までで、一時的に施設を利用する制度です。

この短期入所サービスは「山郷館」「山郷館くろいし」で実施しており、どちらの施設も個室対応が可能です。

■ 山郷館

・ 利用定員 6名

(個室対応可能)

■ 山郷館くろいし

・ 利用定員 3名(専用個室)

短期入所相談やご利用申し込み、費用等についてのお問い合わせは左記にていつでもお引き受けいたします。

山郷館

電話 0172-9712211

山郷館くろいし

電話 0172-5313070

その他、最寄りのデイサービスセンターなど山郷館の他事業所でも受け付け可能です。施設の見学も随時受け付けておりますのでお気軽にご連絡ください。



障がい者再チャレンジ支援事業
障がい者学習講座、
始まる。

知的障害者
運動寮

拓心館

平成十九年度障がい者再チャレンジ支援事業は、文部科学省から三年間の業務委託を受けて、青森県総合社会教育センター研修指導課が主催となつて行う事業です。

事業内容として「障がい者の学習講座」「障がい者の就労や社会参加を支援するボランティア養成講座」に分かれています。この事業を通じて、障がい者の就労や社会参加にチャレンジする力を身につけることや、地域で支援活動を行うことを希望するボランティアのスキルアップを図ることが目的です。講座は就労コースと社会参加コースに分かれており、概ね十八歳以上の障がい者で、就労コース十名、社会参加コース六名が、弘前市熊嶋にある就労移行支援事業所「就労サポートひろさき」で学習講座とボランティア養成講座を行います。

十一月十日は就労コースを対象とし、研修内容・職場実習内容に応じた技術取得と題して行われ、当日は十名が来所し金魚ねぶたの紙切り・色塗り・蠟付けの作業を体験しました。参加した方からは、

金魚ねぶたを作るのは初めてであり色々な工程があり作って行くに従い段々と興味も湧いてきたし集中も出来てとても楽しかったと話していました。

続いて十一月十四日に社会参加コースに六名来所し、二組に分かれて大根の収穫をし洗浄したり、重さを量り、納品の準備までを行う作業と金魚ねぶたに貼る前の色塗りの作業を行っており、どちらもとても熱心に集中して作業を体験している姿が窺えていました。今回、就労コースや社会参加コースを受講された方がこの事業を通じて、一人でも多く一般就労に向けて、意欲や技術を高めながら持てる力を発揮して行けるように、就労サポートひろさきが各関係機関と連携を図りながら取り組んで行きたいと考えています。





ケアホーム完成 「やよい住宅」

知的障害者
更生施設

拓光園



拓光園では、これまで知的障がいのある方々の地域生活を支援する取り組みの一環として、弘前市城西、岩木町高屋地区にあるケアホームにて、計8名（各々4名）の方の生活を支援してきました。

しかし、城西住宅の老朽化が目立ってきたため、昨年春から、拓光園のすぐ近く、旧「やよい歯科」跡地に新しいケアホーム（やよい住宅）の建設を進めてきました。そのやよい住宅が、昨年11月初めに無事完成を迎え、早速、城西住宅の4名の方々の引っ越しが行われました。すでに新居での生活が始まり、2ヶ月が経とうとしています。やよい住宅は、一階にダイニングキッチンその他、浴室、トイレと三部屋の個室があり、二階にもトイレ、四部屋の個室と、一人ひとりのプライバシーと団らんの際に配慮した造りになっています。現在、城西住宅に住んでいた4名の方々が生活しています。建物の快適さはもちろんのこと、何よりも、拓光園がすぐ近くにあるので、何かあった時にとても心強いという声が多く、気持ちの面でもあずましい生活が送れ、だいぶ各自の生活スタイルができてきたようです。

今春には、更に2名の方の入居が予定されています。これからも一人ひとりの生活スタイルを尊重し、支えることで、より一層、地域生活の輪が広がるよう取り組んでいきたいと考えています。今日もまた、にぎやかな、明るい笑い声が聞こえています。



「地域包括支援センター」をご存知ですか？要介護認定で要支援1、要支援2の結果が出た方は、これまでの居宅介護支援事業所から地域包括支援センターに担当の変更があったことで、ご承知される方も増えてきたと思います。もちろん、介護予防ケアマネジメント（介護予防ケアプラン作成）も大事な仕事の一つですが、そればかりではなく「高齢者の総合的な支援」を行うことが、地域包括支援センターの重要な仕事になります。では、総合的支援とは、具体的に、どのような仕事なのでしょう。地域包括支援センターには、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員の3職種が配置されています。それぞれの専門分野を駆使することにより、介護保険だけではなく、様々な制度や社会資源を利用することで、問題を抱えてしまった高齢者を総合的に支援していきます。例えば「一人暮らしのおばあちゃん」が、ギックリ腰をきっかけに引きこもり状態となり、軽度のうつ症状を発症。そこへ、健康用品の訪問販売が来て高額の商品を売りつける。久しぶりに訪ねてきた娘が、たくさんのお請求書にびっくりしてしまふ。」というようなことがあった場合、どこに何を相談すればいいか悩まれてしまふでしょう。おばあちゃんの健康状態、一人暮らしは継続できるのか、使ってもいけない高額な商品にお金を支払わなければならないのか。地域包括支援センターは、こうした重複した問題を一つの窓口で、相談・対応をしていきます。

弘前市北部地域包括支援センターでは、「出前教室」は、皆様の身近な場所でも行いますので、お気軽にお問い合わせください。（弘前市北部地域包括支援センターは、現住所から移動いたします。詳しくは、4面のお知らせをご覧ください）

**出前教室
行っています**

弘前市北部地域包括支援センター

特別養護
老人ホーム
**サンアップル
ホーム**

弘前市北部地域包括支援センターでは、北部地区のそれぞれの公民館のご協力を得て、「地域包括支援センター」つてなにするところ？という講演を行っています。講義も少しはあるのですが、言葉にするとは難しいことも多いので、例えばのような話を寸劇にして、楽しく分かりやすい工夫をした活動を行っています。このような「出前教室」は、皆様の身近な場所でも行いますので、お気軽にお問い合わせください。

いわせて ネット

将棋の王様

将棋と出会ったのは小学校の時です。先生から指し方の手解きを受けて始めたのですが、面白くて休み時間や放課後になると誰かと指していました。さらに定跡を覚えると面白さも倍増し、いつの間にか夢中になっていました。その時の文集に「将来の夢は、プロ棋士になりタイトル戦やトーナメント戦に出て、大スターになること」と書いたのを覚えています。

カルチャースクールなどで続けていましたが、5年前、弘前市に日本将棋連盟津軽支部があることを聞き入会しました。気軽に入会した後に知ったのですが、支部長の宮崎氏は故大山十五世名人と面識があり、現A級プロ棋士行方八段や中井女流六段の手解きをされた方でした。また、支部には米長邦雄氏・中原誠氏など著名な方も訪れる所でした。

多いです。それでも、会の雰囲気や指し方の勉強が出来るのが楽しく、毎回出席しています。また、支部では毎年正月、会員総当りの「指し初め」を行います。普段の例会とは違い、駒を打つ一手一手に気迫があり、いつも以上の緊張感がたまりません！

今後の目標は、段位をとる事です(現在一級)。そのためには大会で優勝する事が必要なのではよいと厳しいのですが頑張ります。また、将棋を通して冷静で居られる精神力を持つことです。子どもたちの夢は叶いませんでしたが、これまでに知り合えた方々を大切にこれからも将棋を続けて行きたいと思っています。

斉藤 秀記



憧れの森内俊之名人と...

弘前市北部地域包括支援センター並びにサンアップルヘルパーセンターの移転について

弘前市北部地域包括支援センターは、これまで、サンアップルホーム敷地内にありましたが、平成20年1月4日付けで、より相談しやすい場所へ移転することになりました。移転先は、主要地方道弘前・鯉ヶ沢線にあり、高杉駐在所より鯉ヶ沢方面に向かい、最初の十字路から左側4件目になり北部地域の中心になります。また、サンアップルヘルパーセンターも一緒に同地に移転しますが、身近な福祉サービス機能として、より一層充実していきますので、これまで同様に弘前市北部地域包括支援センター並びにサンアップルヘルパーセンターをよろしくお願い致します。

《住所》

弘前市大字高杉字山下298-1

《電話》

弘前市北部地域包括支援センター

TEL 0172-95-2100

FAX 0172-95-2158

サンアップルヘルパーセンター

TEL 0172-95-3758

TEL 0172-95-3758

総合支援	障害者支援		特別養護老人ホーム		居宅介護支援事業
	(主に知的)	(主に身体)			
青森県指定 弘前市委託事業 津軽障害者就業・生活支援センター 弘前市障害者生活支援センター 弘前市北部地域包括支援センター TEL 95-2100	拓 心館 グループホームケアホーム12ヶ所 生活自立訓練事業 就労サポートひろさき園 生活介護・就労継続支援B型エイブル 通所利用事業 拓光園短期入所支援センター 拓光園障害児デイサービスセンター 日中一時支援事業所 共同生活介護事業所 TEL 96-2331	旭 山郷館 山郷館短期入所事業 山郷館デイサービスセンター 山郷館デイサービスセンター弘前 山郷館地域活動支援センターキャンパス 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター黒石 通所他障害者短期入所事業 旭光園身体障害者短期入所事業 福祉ホームさわら TEL 97-2211	サポートセンターわかば 弘前市大字若葉2丁目15 TEL 37-1165	サポートセンターわかば 認知症グループホームわかば デイサービスセンターわかば サンアップル在宅介護支援センター (弘前市委託事業) TEL 97-2131	山郷館居宅介護支援センター TEL 97-2941 サンアップル居宅介護支援センター TEL 97-2131 サンアップルホーム TEL 97-2111 サンアップル短期入所生活介護センター サンアップル台デイサービスセンター サンアップルヘルパーセンター TEL 95-3775 認知症グループホームアップル TEL 97-2778 認知症デイサービスセンターじよい TEL 97-2013